



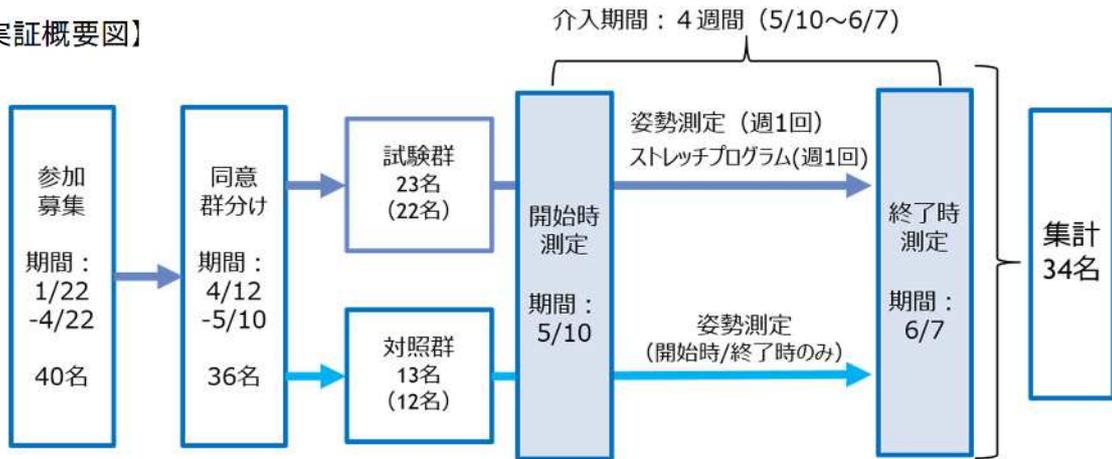
神奈川県 ME-BYO リビングラボ実証事業を行いました 中学生を対象とした姿勢分析システムによる意識行動変容の検証

県では、県民の皆様が安心して未病改善に取り組んでいただくとともに、未病産業の持続的発展を促すことを目的とした「神奈川県 ME-BYO リビングラボ」を推進しています。令和4年度の神奈川県 ME-BYO リビングラボ実証事業として、スマートフォンやタブレット端末などの利用時間増加等による子どもの姿勢への影響について、株式会社 PRIDIST より提案された非接触型姿勢測定システム「BAS Fit」を用いた姿勢測定とストレッチ指導による健康意識等への効果を検証する実証事業を県内の中学生を対象に実施しました。
このたび、その実証事業の評価を行いましたのでお知らせします。

1 実証事業の概要

- (1) 事業者: 株式会社 PRIDIST (平塚市)
- (2) テーマ: 中学生を対象とした姿勢分析システムを用いた姿勢測定による意識行動変容
- (3) 対象となる未病領域: 健康に関する意識・行動変容
- (4) フィールド: 相模女子大学中学部 (相模原市南区)
- (5) 対象者: 中学2年生 (13~14 歳) の生徒 34 名
- (6) 実施期間: 令和 4 年 5 月 10 日 (火曜日) ~ 6 月 7 日 (火曜日) の 4 週間
- (7) 実施内容:
 - ① 参加者を「試験群」と「対象群」の2つに振り分ける。
 - 試験群: BAS Fit による姿勢測定とストレッチプログラムを実施する群
 - 対照群: BAS Fit による姿勢測定のみを行う群
 - ② アンケート、姿勢測定、ストレッチプログラムの実施
 - アンケート: 運動量、姿勢に対する意識、スマートフォン等の使用時間、意識変化などについて開始時、姿勢測定後、終了時に実施
 - 姿勢測定: BAS Fit による姿勢測定の実施。試験群は毎週1回の4回測定。対照群は開始時、終了時の2回測定。
 - ストレッチプログラム: 姿勢の改善を促すストレッチ動画を各自視聴 (試験群のみ実施)
- (8) 評価項目:
 - 主要評価項目: 姿勢測定システムによる測定値
 - 副次的評価項目: 健康行動に関するアンケート結果各評価項目について、介入の前後比較、群間比較等で解析を行う。

【実証概要図】



【BAS Fit による姿勢測定】



- ①センサーの前に立ち画面の指示に従いポジションを調整
- ②正しい位置が決まると自動でカウントダウン開始
- ③3秒後に結果がその場で表示

正面からの一方向の撮影だけで正面、側面、上空から見た骨格、歪みや重心等の測定データを結果に表示。他にも、体の凹凸を示すモアレトポグラフィーなどの項目もある。

2 結果報告の内容

別添資料1:株式会社 PRIDIST プレスリリース

3 県の評価

- 計画に沿って問題なく実施されたが、目標症例数 75 名に対して、解析が 34 名となり、両群の例数にも差が出てしまった事から、群間比較の解析が適切にできない結果となった。
- 個別データの前後比較では姿勢の改善を示した結果もあり、姿勢の測定により姿勢に対する意識だけでなく、健康に対する意識の向上も見られた。
- 測定のときだけ姿勢を正そうとする意識が働いている可能性があることから、生活の中で頻りに姿勢を測定することにより、常に正しい姿勢を意識することを社会に習慣付けることができる可能性を秘めている。
- 測定数値による姿勢改善の見える化は、本人の実感を得られやすいことから、自己改善のみならず教育現場等での適格な指導に役立つ。
- 今後、エビデンスの蓄積・評価を継続し様々な活用分野の開拓を期待する。

別添資料2:県の評価全文

《SDGsの推進について》

県では、SDGsの達成にもつなげる取組として、県民の未病改善の実践と未病産業の持続的発展を促す民産学公連携の実証事業を推進する神奈川 ME-BYO リビングラボに取り組んでいます。



問合せ先

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室

未病産業担当部長 牧野 電話 045-285-0156

未病連携グループ 佐藤 電話 045-285-0778